スライド翻刻文

スライドP4

吉助次郎(注 代官所お役人、通例姓は書かない)

四月五日 半田村

庄屋

上半田分

酒造屋

惣代

耆人

下半田

半右衛門

成岩

伊助

申渡義有之候間明後

七日五半時一同陣屋江

可罷出候此状其節可返候

四月五日

スライド P6

送り一札

一当村定右衛門弟善之助年式拾三歳ニ相成申候
今般其御村清七方江養子ニ遣申候右善之介(助)
宗旨ハ代々浄土宗当村信善院旦那二紛リ
無御座候勿論御禁制之切支丹宗門筋目
之者ニテ無之候仍而当春当村宗門相除申候
以後権村方清帳ニ御加入御支配可被成候為
後日一札仍而如件

文政六年未二月

矢田村庄屋(注 尾張 春日井郡)

水谷清右衛門印

成岩村御庄屋

御苗丕兵衛殿

スライド P7

一札

其御村常右衛門女房者当村六兵衛娘ニ而
そのと申女当丑年式拾七歳宗旨代々
浄土宗旦那寺ハ同郡成岩村無量寿寺
旦那二紛無御座候勿論
御法度之宗門ニ而ハ無御座遠親類縁者
之内ニ茂類門筋目之者無御座若脇う
怪宗門杯と訴人御座候ハハ何方迄も罷出
申披仕其御村江御苦勞ヲかけ申間敷候
当春う御清帳江御申加可被成候当村帳面相除
申候為後日一札仍而如件

文化十四年

丑三月

岩滑村庄屋 忠左衛門印

成岩村

御庄屋衆中

スライドP2-2

安政四年丁巳年

御年貢三役銀之外

知多郡

村下用之覚

成岩村

一米七斗四升

粕釜川役

五七かへ

(注:昔から理由がないのに支払っていた)
(注:二両に米五斗七升の意)

一金壹両壹分

銀式匁九分

一金五両三分ト

諸役人様御休泊

銀式匁

御入用并證文

八分八厘

人足代共

スライドP2-3(尾張藩のお役人の費用の明細)

右内訳

辰正月七日夜々八日昼迄御休泊

一銀九匁

御林方

内式百廿四文御払

中井清四郎様

神谷新蔵様

富田司馬太郎様

//廿日御昼仕度

一銀式匁

枳方

内七拾文御払

岩録蔵様

柴田喜十郎様

スライドP2-4

//日

一銀五分

御同人様御継立

半田村迄

人足式人

巳正月一七日

御勘定所

永田太助様

//十九日御昼仕度

鳴海方

銀式匁

佐藤右衛門七様

内四拾八文御払

鷺見豊治様

//日

銀七分

御同人様継立

長尾村迄

人足式人

スライドP215

十一月朔日夜々五日昼迄御休泊

一金貳分

御林方

銀六匁

中井清四郎様

内巻々四拾八文御払

神谷新蔵様

富田司馬太郎様

〃十八日夜御泊

同

一銀貳匁

富田六郎左衛門様

内五拾六文御払

々金五両三分

銀貳匁

スライドP216(お役人はかかった費用の30%程度支払っていた)

内六々五拾八文 御拂々

此金三分九匁貳分七リ

御拂引々金五両三分

銀貳匁

金四両三分

銀八匁六分壹リ也

内金四両ト

銀四匁七分三リ

御休泊代

金三分

銀三匁八分八リ

人足代

スライドP217(村の諸経費記載の例)

一金八両三分

船江三ヶ所

浚人則代

一金拾九両三分

雨池敷地弁米

銀四匁八分

代

一金七両三分

根出し御祓縄

銀八匁九分八厘

代

スライドP218

一金壹分ト 御見分入用 (なにか判定するための見分)

銀壹匁貳分

一金九兩三分ト 灯燈(提灯の誤りカ)張替

銀貳匁五分 蝋燭代

一金貳兩ト 諸奉加

銀拾三匁 庄(屋)(組)頭へ遣申

スライド P2-9

一銀六匁 熟田

一金一分ト 三頭人遣申

銀五匁 諸上納物

一金壹分ト 判錢代

四百壹文 宗門帳

此三匁五分九厘 箱代

スライド P2-10

一金拾六兩壹分ト 村役人頭百姓

銀五匁八分 諸勘定立会入用

一金八兩貳分ト 見分之節入用共

銀拾三匁 氏神五ヶ所

村扣堂社

造作入用

氏神五ヶ所

神事祭礼之節

御神酒御備(供)米代共

銀貳匁四分

スライド P2-11(最後のページに下用総額、石高対比の記載がある)

一金五百六十七兩貳分

銀五匁八厘

高三千四百九十三石七斗八升 (成岩村の石高)

但高百石二付

金拾六兩壹分

銀貳分九厘貳八(銀二分九厘二毛八)

スライド P2-12

スライド P2-12

スライド P2-12

スライド P2-12

右之通相違無御座候以上

右村年寄役

庄屋兼

山口三郎

庄屋

北村橋蔵

〃

儀兵衛

〃

総右衛門

〃

庄兵衛